

2025. 7. 25.

(1)

おい図書館

No.233

発行
代表
青木 和子
松本市牧の原 1-10-4
TEL 047-311-0886
416

第三十二回定期総会



6月22日(日)、子ども読書推進センターにおいて、第32回定期総会を開催しました。

市議・県議の方々も参加して下さり、総会後半には常世田良さん(元立命館大学教授)のお話を伺いました。豊富に資料と映像を駆使した中身の濃い講演会でした。

総会に先立って、会員宛に議案書(2024年度活動・会計・会計監査報告、2025年度活動計画案、予算案、会則改正案、役員改正案)を送付しました。審議の結果、すべての議案は承認されました。

審議の中で皆様から頂いた貴重な意見は、今後の活動に反映させたいと思っております。

二〇二四年度活動報告

- 。4月5日(金) 定例会
- 。5月3日(金) 憲法記念日の集い
次矩子さん講演会(市民会館ホール 市内70団体共催)
- 。5月16日(木) 藤谷スポーツ文化部長と面談
- 。5月24日(金) 「おい図書館」第31回定期総会&常世田良さん講演会(子ども読書推進センター)
- 。5月27日(月) 図書館友の会全国連絡会第18回定期総会(社日本図書館協会研修室)……リポート参加

- 。6月21日(金) 定例会
- 。7月19日(金) 浦安市立中央図書館見学

- 。8月19日(月) 「松戸市図書館整備計画」の勉強会
- 。9月20日(金) 定例会
- 。10月27日(日) 坂川・流るるブックマーケット出店

- 。定例会・DVD「図書館へ行こう」上映会(子ども読書推進センター)
- 。11月17日(日) 読書バリアフリー展示会(子ども読書推進センター)
- 。12月15日(日) 定例会

- 。2025年1月25日(土) 第30回千葉県内図書館関係市民団体連絡会(君津市立中央図書館)……「おい図書館」不参加、会報送付
- 。1月27日(月) 定例会
- 。2月25日(火) 定例会
- 。3月24日(月) 定例会

会報発行

。230号(8月20日)

第31回定期総会

231号(11月7日)

坂川・流るるブックマーケット、
千葉県内図書館関係市民団体
の活動について

232号(2025年3月30日)

千葉県内公立図書館サービス
指標(R.5年度)、松戸市教育
育費・図書館費の変遷、松戸
市R.6年度教育関係予算、図
書館友の会全国連絡会第18回
定期総会、国への要請行動、
関係省庁への要望書

以上の他、市議会傍聴、市民・
市議会・市役所各部署・県内外の
図書館関係市民団体及び個人への
会報配布・送付、市議会議員・市
役所担当部署との面談、必要に応
じての事務局会議等を行いました。

二〇二五年度活動計画

。市民への働きかけ
。市議会・行政への働きかけ

。図書館見学

。図書館についての調査・研究

。県内外の図書館関係市民団体との交流

。講演会・勉強会

。文化活動

。市内他団体とのイベント共催

。発会30周年記念事業

。会報発行

。定例会開催(運営委員会及び会

独自のオープンな講演会・勉強

会等を各々2ヶ月に一度程度開

催、会場：市民センター会議室等)

。会費：年間1000円

。事務局

代表 富田文子

副代表 青木和子

会計 小川タ子

会計監査 西山怜子
島佳枝

現在の松戸市立図書館本館はS.
49年(1974年)に開館。築50年余が
経過し、施設の老朽化・狭隘化が目

立つようになりました。松戸市長

期総合計画に盛り込まれた建替え

計画の実現を目指す。早速「おい

図書館」の活動も33年目に入っています。

市庁舎の建替え計画と並行して、

新しい中央図書館建設計画も長い

停滞の時期を経て漸く動き出そう

とします。

「松戸市図書館整備計画」に則っ

た素晴らしい図書館の実現を待ち

望んでおります。



今年度より、会の代表は富田文

子さんが担って下さいます。時宜に

適った交代ができた事を大変嬉し

く思います。快諾して下さい富田

さんに深く感謝すると共に、若い方々

の活動に大いに期待しております。

今後共、皆様の協力をよろしくお願い

申し上げます。



おーい図書館会則（案）

- 第1条 この会の名称は「おーい図書館」とする。
- 第2条 この会の事務局は代表宅におく。
- 第3条 この会は、市民の要求に応える新しい図書館作りを目指す。
- 第4条 第3条の目的を達するために
1. 図書館についての情報収集や学習を行う。
 2. 学習の成果を地域の図書館活動の中に生かす。
 3. その他、必要な活動を行う。
- 第5条 この会には、図書館に関心のある者は、誰でも入会することができる。
- 第6条 この会の経費は、会費とその他の収入をもって当てる。
- 第7条 この会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり、3月31日に終わる。
- 第8条 この会の役員は、次の通りとする。
- ・代表 1名
 - ・副代表 1名
 - ・会計 1名
 - ・会計監査 2名
- 第9条 この会の役員の任期は1年とし、再選を妨げない。
但し、兼任は認めない。
- 第10条 この会の役員の選出は、会員の互選で決定される。
- 第11条 総会は年1回開き、前年度の会計決算及び活動の報告、新年度の予算、活動計画等を審査、決定する。
議事の成立は、参加者の過半数の賛成をもって決する。
- 第12条 この会の会則は、必要に応じて会員の合意のもとに改正することができる。

付則 この会則は1995年3月25日より運用する。
この会則は2009年2月25日より運用する。
この会則は2010年4月24日より運用する。
この会則は2011年4月16日より運用する。
この会則は2015年4月18日より運用する。
この会則は2016年4月16日より運用する。
この会則は2018年4月14日より運用する。
この会則は2024年5月24日より運用する。

2025年4月1日現在
会員数 118名

(4)

2024年4月1日 ～ 2025年3月31日 決算報告

<単位 円>

【収入】

項目	金額	摘要
繰越金	330,503	前年度繰越金
会費	75,000	75人X1,000円
研修費	0	
雑収入	26,000	寄付等
計	431,503	

【支出】

項目	金額	摘要
会議費	4,857	市民センター使用料
研修費	35,698	としょかん文庫、全国連絡会、講師謝礼、イベント出展等
通信費	35,963	メール便、郵便料金等
事務費	26,096	印刷代、コピー代、事務用品、事務局活動費等
予備費	0	
計	102,614	

収入 (431,503円) - 支出 (102,614円) = 残高 (328,889円)

監査の結果、上記の通り相違ありません。

会計監査

西山 伶子 (西)

島 佳枝 (島)

2025年4月1日 ～ 2026年3月31日 予算 (案)

<単位 円>

【収入】

項目	金額	摘要
繰越金	328,889	前年度繰越金
会費	100,000	100人X1,000円
研修費	10,000	図書館関係講演会等、参加費
雑収入	20,000	寄付等
計	458,889	

【支出】

項目	金額	摘要
会議費	10,000	市民センター使用料等
研修費	50,000	としょかん文庫・友の会、全国連絡会、講師謝礼等
通信費	50,000	メール便、郵便料金等
事務費	40,000	印刷代、コピー代、事務用品、事務局活動費等
予備費	308,889	
計	458,889	

代表就任のご挨拶

富田文子

このたび「おーい図書館」の代表に就任しました富田文子です。

「おーい図書館」の青木さんとの出合いはコロナ禍以降、2019年頃から教育委員会を傍聴し始めたことがきっかけでした。

コロナ禍の最中に常世田先生のお話を伺い、「図書館は情報の蛇口」「図書館は大人が学ぶための場」という言葉に驚き、図書館は市民の主体的な活動を後押しする「場」なのだと考えるようになりました。このことをよりたくさんの方に広められるよう、図書館の啓発活動をしたいたいと思います。

代表と言っても、私は経験も知識もありません。このため、今後も青木さんには副代表として支えて頂き、手書きの会報などを保ちつつ、継続して頂くことをお願いしてお

ります。

「おーい図書館」の運営事務局も担い手が不足しています。今後の活動やイベントを実施するためにも、皆様に協力頂きますよう、どうぞよろしくお願い致します。



常世田先生の講演を聞いて

市議会議員 湯浅文

6月22日、「おーい図書館」総会後半は常世田先生の講演でした。

配布資料を読み、松江市と県内他市を比較すると、市民一人当たりの所蔵冊数は県内最下位で、リクエスト件数は、近隣の柏市^{10.5}や市川市^{10.5}よりも高い数字となっていました。

これを見ると、本が少なく市民のリクエストが多いということがわかります。数字を読み解くと、本市の現状と課題が見えてきます。

また、市民交流空間の「ラーニン

グ・コモンズ」の必要性について説明がありました。同じ空間で市民が自由に交流し、多様な情報や専門的な情報を得ることができるスペースになつていきます。単なるイベントをする空間ではなく、情報を提供する場所です。全国各地の先進的な図書館に整備されていて、図書館の可能性を感じます。

図書館のスペースの有効な使い方の一つに「メーカースペース」があります。メーカースペースとは、パソコンや3Dプリンター、カットマシーンなどが備えられていてものづくりを体験でき、新しいビジネスを立ち上げようとするベンチャー企業や起業家を担当の講師が多岐にわたって支援するスペースです。また、失業者支援も図書館で行っています。浦安市立図書館には3Dプリンター等があり、以前、見学に行った時に、図書館の意外な一面に驚いたことを思い出しました。

施設利用等のハード面だけでなく、ソフト面においては高度ではなくても専門的な情報提供も重要です。働き盛り世代の大人が図書館を使うようになる利用率が格段に上がります。鳥取県立図書館では仕事に役立つ本が入り口近くにあり、仕事をする上での課題解決のための本を借りることができるようです。図書館に行けば情報を得ることが出来る……これが求められているのかもしれませんが。

まとめとして、日本では図書館と言えば「子どもと絵本」「高齢者と新聞」「学生と本」という景色です。働き盛りの大人が図書館に行かないのは「時間が無い」からであり、図書館は「時間が有る」人に行く所になってしまっているとのお話がありました。

今回のお話から、現状を把握し、知り得た知識を今後の活動に活かしたいと思います。



社会教育委員会議への 意見票提出

7月17日(木)、R.7年度第一回社会教育委員会が開催されました。松戸市議会6月定例会において「本市の図書館の現状について」蔵書冊数、司書割合、図書館協議会の設置への質疑があり、部局回答は「図書館協議会の設置は、パブリック・ホームページの意見・社会教育委員会議での助言などがあり、図書館協議会の設置は検討してはいない」との回答を踏まえ、松戸市子ども会育成会連絡会及び「おーい図書館」に会員である坂栄一さんが、社会教育委員会として以下の内容の意見書(お願い)を提出されました。

意見(お願い)

図書館協議会の設立について

坂栄一

蔵書の書庫・書架の不足、職員・司書比率の問題は、時系列の目標設定や育成計画など、継続して審議を重ねて推進する事が必要です。種々の課題が山積し、非常に厳しい状況であるからこそ、市民や有識者の方々が一堂に会して継続して審議する「公の協議の場」が必要であり、「パブリック・ホームページの意見・社会教育委員会議からの助言」などは、課題に特化し、継続して審議・検討できるものではありません。

広い視野を以って意見と検討を重ね「計画(目標)・実践・検証(評価)・改善」を鋭意推進する事が現在の松戸市立図書館のあるべき姿と考えっております。図書館協議会の設立について、再考をお願い致します。